

MFYニュース2008年度 前期号

発行 2008年9月吉日 (社)青少年音楽協会

青少年音楽協会会員の皆様へ

涼しい風に、青空の高さに、秋の到来を実感できるようになりました。

いつも変わらぬご支援を感謝いたしております。

MFY2008年度の活動も約半分が無事に終わりました。皆様から、一つ一つの催し物の内容がすばらしかったとご好評をいただき、携わっている者一同、努力が報われたと喜んでおります。

後半に企画しておりますコンサートにもご期待下さりご協力いただけますようお願いいたします。

MFY 理事・職員一同

◇MFY子ども会員誕生！

カニングハム女史が口癖のように、教師や親に対して“子どもたちにとって、小さいうちに良い音楽やバレエに触れる機会を与えることがとても大切”そして子どもたちには“音楽とお友達になりましょう”と云って、生涯子どもたちによい音楽を与えるお仕事を続けられました。

その志を受け継ぐために考えられた『MFY子ども・学生会員』の募集が本年度実現し、6月～9月の間に19名の子ども会員が誕生いたしました。今年度の終わりまでには何人のお友達ができるか楽しみにしています。



◇ヤングピープルスコンサート『動物大行進』を再び！

6月1日(日)15:00

東京都児童会館

〈第1部〉組曲“動物の謝肉祭” サン=サーンス作曲

ピアノ連弾：木村りえ 木村りさ

絵を画く小父さん：こうま・すう

ピエロ：川上冠仁 山田洋平

ピエレッタ：ウタコ

特別出演：筑波大学附属聾学校

小学部2・3年生

〈第2部〉バレエ“子象ババールのお話”

ジャン・ド・ブリュノフ原作

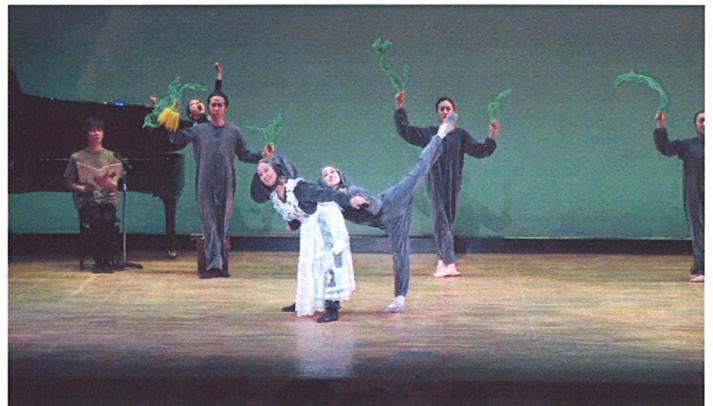
フランシス・プーランク作曲

振付：雑賀淑子

ピアノ：櫻木枝里子

ナレーション：川上冠仁

バレエ：サイガバレエ 他



☆今年度のヤングピープルスコンサートは、例年と違いピアノとバレエのコンサートとなりました。それは、動物好きのカニングハム女史が生前行ったコンサート『動物大行進』を再現したいと云う思いで企画しました。“動物の謝肉祭”では、表現力豊かな木村姉妹のピアノ演奏をさらに助けるように、その組曲の中の短い曲一つ一つが表す動物の姿を、あっと云う間にこうま・すう氏によって舞台上で画かれ聴衆の感動を呼びました。また、聾学校の小学2・3年生がすっかり舞台に溶け込んで踊っている姿にも驚かされました。

“子象ババールのお話”櫻木枝里子の切れのよいさわやかなピアノの演奏に乗り、ババールの童話の世界が繰り広げられました。その評価は次の文章をお読みいただければお分かりいただけると思います。

季刊誌『バレリーナへの道 74』の中で舞踊評論家林愛子氏により美しい8枚の写真とともにご紹介戴いています。

□絵本をめくっているようなワクワク感

舞踊評論家 林愛子

抜粋…

<第1部>

漫画家／イラストレーターである、こうま・すうが絵を描く小父さんに扮して、舞台の上手で紙の上にライオン、雄鶲、雌鳥、ラバ、亀、象、カンガルー、魚などの動物たちをわかりやすく巧みに描いていく。客席にいる私たちは目で描かれていく線を追いながら、耳では音を楽しみながら舞台に釘付けになるという具合だ。

…中略…

<第2部>

ここでなにより魅力的なのは、主人公ババールをはじめとするキャラクターがいきいきしていて物語がわかりやすいこと。ババールのお話を知らない観客が初めて見ても、すぐに親しみをもてる事だろう。そしてテンポのよいつくりは、絵本をめくっているようなワクワク感がある。これは第1部にもいえることだが、老人も子供もみんなが一緒になって楽しめる舞台なのである。これを、もっと多くの人に見てもらえなかつたことだけが惜しまれる。

♦尚、収益金の中からささやかですが、関西にあるアーク(アニマルレフュージ)に寄付させていただきました。

◇子どものためのサロンコンサート『音楽と友達になろう』

9月21日(日)14:30

MFYサロン

うた：江原陽子

ピアノ：古澤幹子

クラリネット：古澤裕治

リコーダー：橋 直彦

☆初めての“子どものためのサロンコンサート”がMFYサロンに子どもたちを招いて行われました。43名という多くのお客様が集まり、その内子どもたちが14名のにぎやかな会となりました。元うたのおねえさんの江原陽子さんの美しい歌声と子どもたちへの語りかけですっかり歌の心に引き込まれ、ピアノ・クラリネット・リコーダーそれぞれに子どもの心を引き付ける工夫のある選曲や演奏方法がちりばめられていました。また、ピアニカや大小4本のリコーダーを使ったリコーダー四重奏もあり、子どもたちにとって、魅力的なコンサートとなつたと思います。

休憩時のおやつの時間も楽しんでいました。

プログラムの最初に「カニングハムさんってどんな方？」という雑賀理事のお話の中の“音楽は心の栄養”といって100才まで子どものための音楽会をつくるお仕事をしたこと、96才になって初めて『私はおばあさんになったのね』と云つたこと、101才まで生きていらしたことなどのお話をきつと子どもたちの心に残ったことと思われます。

「楽しかった！」「楽しかった！」と言って帰つていった子どもたちの表情が嬉しくいつまでも心に残っています。



◇第54回チャペルリサイタル

5月18日(日)15:00

聖アンデレ教会

和太鼓独奏：田部井勇貴

ピアノ独奏：横山隆臣

ソプラノ独唱：高山ちひろ

ピアノ伴奏：岩城美智子教諭

ピアノ独奏：田淵愛希子

【特別出演】

ソプラノ独奏：塩谷靖子

ピアノ伴奏：金子薰



☆チャペルリサイタル初めての和太鼓の演奏がありました。

特別出演の塩谷靖子さんの歌声はまた一段と明るくなり、

表現も豊かさが増したように思われました。

◇サティ弾き 島田璃里さんの連続コンサート

◆サロンコンサート『白いティタイムコンサート』

“ハッピーバースデイ ムッシュウ サティ”

5月17日(土)15:00

MFYサロン

ピアノ：島田璃里

ソプラノ独唱：高野真樹

朗 読：雑賀淑子



☆島田璃里さんが、今年もサティの誕生日にサロンでコンサートを開きました。

“白いティタイム”、サロンに白いカスミソウを飾り、ゆったりとテーブルに着けるだけの人数で、押田雅也シェフが作った白いケーキを味わいながら、サティの音楽を楽しみました。

◆サマーコンサート『サティと小鳥たちのコンサート』

8月10日(日)14:00

軽井沢 ハーモニーハウス

ピアノ：島田璃里

お 話：山口博史

☆美しい緑に包まれたハーモニーハウスのホールでいく種類もの小鳥のさえずりとそれに答えるピアノのさえずりに聴き惚れました。璃里さん的小鳥たちへの想いと感性が感じられました。

第2部のスライドで、壁一面に渡り鳥の飛来を映し出してのサティ演奏も素晴らしいものでした。

ティタイムでのそば粉のクレープの味も忘れられないものでした。

